

第16回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

- | | | | |
|---|-----|---------------------------|-----------------------------|
| 1 | 日時 | 平成28年6月17日(金) 午後2時30～午後4時 | |
| 2 | 場所 | 蒲郡市役所 本館 303会議室 | |
| 3 | 出席者 | 委員 | 愛知工科大学自動車短期大学自動車工業学科教授 橋本孝明 |
| | | 委員 | 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 松本幸正 |
| | | 委員 | 愛知運輸支局 杉本忠久 |
| | | | (代理 古橋靖弘) |
| | | 委員 | 愛知県交通対策課 桑原良隆 |
| | | | (代理 塚崎有里) |
| | | 委員 | 総代連合会会長 酒井雅幸 |
| | | 委員 | 総代連合会副会長 岩瀬雅史 |
| | | 委員 | 総代連合会副会長 小林俊雄 |
| | | 委員 | 形原地区公共交通協議会 壁谷権一朗 |
| | | 委員 | 蒲郡市身体障害者福祉協会 金沢孝一 |
| | | 委員 | 蒲郡市老人クラブ連合会 市川紀子 |
| | | 委員 | 蒲郡市社会福祉協議会 金原久雄 |
| | | 委員 | 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 小林暁子 |
| | | 委員 | 蒲郡商工会議所 小池高弘 |
| | | | (代理 佐藤康彦) |
| | | 委員 | 蒲郡市観光協会 杉山和弘 (欠席) |
| | | 委員 | 名鉄バス東部株式会社 藤田信彰 |
| | | | (代理 加藤紀幸) |
| | | 委員 | 豊鉄タクシー株式会社 小川健司 |
| | | 委員 | 株式会社かね一自動車 石田悦司 |
| | | 委員 | 名古屋鉄道株式会社 木本正則 |
| | | | (代理 水野秀樹) |
| | | 委員 | 公益社団法人愛知県バス協会 古田寛 (欠席) |
| | | 委員 | 愛知県タクシー協会 山田透 (欠席) |
| | | 委員 | 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 白井淳 |
| | | 委員 | 愛知県蒲郡警察署 肥田尚幸 (欠席) |
| | | 委員 | 東三河建設事務所 柴田厚 |
| | | 委員 | 蒲郡市長 稲葉正吉 |
| | | 委員 | 蒲郡市総務部長 壁谷勇司 |
| | | 委員 | 蒲郡市企画部長 大原義文 |
| | | 委員 | 蒲郡市市民福祉部長 鈴木富次 |
| | | 委員 | 蒲郡市建設部長 大場昭佳 |
| | | 委員 | 蒲郡市産業環境部長 吉見和也 |

委員	蒲郡市都市開発部長	鈴木成人
事務局	蒲郡市交通防犯課長	竹内正樹
	蒲郡市交通防犯課長補佐	竹下暁
	蒲郡市交通防犯課主事	足立昌平
	蒲郡市交通防犯課主事	鎌田司郎
連携計画推進事業受託事業者		三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会
社 1名		

4 傍聴人 5人

5 議題

- (1) あいさつ
- (2) 委員自己紹介及び役員の指名について

6 協議事項

- (1) 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議決算及び蒲郡市地域公共交通総合連携計画事業進捗について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料1-1、1-2〕
- (2) 蒲郡市地域公共交通網形成計画（案）へのパブリックコメントについて・・・〔資料2-1、2-2〕
- (3) 平成29年度生活交通確保維持改善計画（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料3〕
- (4) 形原支線バス回数券の設定及び協賛者募集について・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料4〕

7 報告事項

- (1) 平成27年度公共交通の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料5〕
- (2) 蒲郡市バス運行対策費補助金要綱について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料6〕

8 その他

- (1) 夏休み小学生50円バスの実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔資料7〕

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 開始時点で出席委員が26名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び連携計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長、稲葉正吉より、昨年の4月から形原地区のあじさいくるりんバス、路線バスの一部再編を実施して一年が経過した。1年間の実績を報告して、確認していく。その評価が課題であり、今後につなげていくための評価が必要。地域公共交通網形成計画ではまちづくりの観点をふまえている。鉄道を軸としたネットワークを進め、本市にしかない観光資源をいかし、公共交通の形を考えていきたい。委員の皆様方には忌憚のないご意見とご協力を賜りたいとのあいさつがあった。

イ 委員紹介及び役員の指名について

- ・ 委員の自己紹介が行われた。
- ・ 蒲郡市地域公共交通会議設置要綱により、蒲郡市長が会長に就任した。
- ・ 会長より副会長として壁谷勇司委員、座長に橋本孝明委員、監事に酒井雅幸委員と大原義文委員を指名したことの報告。また、議長については蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項に基づき座長である橋本委員を指名し、議事を進行。

[質 疑]

- ・ なし

(3) 協議事項

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

ア 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議決算及び蒲郡市地域公共交通総合連携計画事業推進について

- ・ 事務局より資料1-1及び資料1-2に基づく説明、監事代表1名から監査報告が行われ、全会一致で承認された。

[質 疑]

- なし

イ 蒲郡市地域公共交通網形成計画（案）へのパブリックコメントについて

- ・ 事務局より資料2-1、2-2に基づく説明が行われ、指摘部分の修正を事務局に一任するとし、承認された。

[質 疑]

(委 員)

- ・ 60ページの水色の部分について、名鉄西尾蒲郡線利用者数等については、平成32年度時点での数値のため、その記載が必要ではないか。また、将来人口の表現について、「まち・ひと・しごと人口ビジョン」と同じ表現とするのが適切ではないか。

(事務局)

- ・ 将来人口の記述については、指摘のとおりわかりやすい表現に修正させていただく。平成32年度の目標なので、年度をいれて修正させていただく。

ウ 平成29年度生活交通確保維持改善計画案について

- ・ 事務局より資料3、当日配布の地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果に基づく説明が行われ、指摘部分の修正を事務局に一任するとし、承認された。

[質 疑]

(委 員)

- ・ この協議会で合意してこそ国に補助金がもらえる。いくら補助金がもらえるのか、これは7ページに示されている。一方で、運行経費がいくらかかり、補助対象額がいくらで結果いくらもらえるのか。

- ・ 毎年評価していくことになり、国の評価がある。2次評価での2点目で観光との連携について指摘されている。地域公共交通網形成計画に記載されている、ナビテラスでの情報発信等についても示したほうがよい。

(事務局)

- ・ 補助金の詳細が手元にないため、およそが運行経費が約400万円で補助金は、約120万円。上限額が設定されており、その対象人口が形原地区は550名。上限金額まで達していないため、この金額となっている。
- ・ 観光との連携の施策については、ご意見を参考に計画に盛り込むように対処する。

(委員)

- ・ 地域公共交通網形成計画を持っていないところは、もっと減額されている。この地域は地域公共交通網形成計画を策定しているため、これだけの補助金がもらえることを、皆さんと共有しておきたい。

エ 形原支線バス回数券の設定及び協賛者募集について

- ・ 事務局より資料4に基づく説明が行われ、「1 形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」回数券導入について」、「2 広告募集、協賛者制度(案)について」の「(1) 蒲都市支線バス車両広告掲載要綱(案)について」及び「(2) 蒲都市支線バス停留所標識広告掲載要領(案)について」については実施について承認され、「(3) 蒲都市支線バス運行事業サポーター制度に関する要綱(案)について」は、他の事例も参考に再度検討することとなった。

[質疑]

(委員)

- ・ 地域としては実施したいと思っていたもの。
- ・ 利用者の声を聞くと、回数券の導入の意見をもらっている。
- ・ 広告についても、協賛する企業を回りたい。その際には、各地区の総代の協力をいただきながら、企業に回りたい。
- ・ サポーター制度について、自分は乗れないが、回数券を購入して親や子供に渡すという話を聞く。協賛者には名簿を作って、車内に掲載することも考えたい。
- ・ 収入を増やしていく努力をしたい。是非とも、承認をお願いしたい。

(委員)

- ・ よい制度だと思う。回数券は、支払が便利になる。いろいろな活用方策があり、地域で考えてほしい。それは、利用促進であるが地域づくりでもある。
- ・ 例えば、地域のお店との連携は、地域のお店を育てていくことに繋がる。また、自治会で回数券を買いあげて、お出かけの日を作って、イベント時に利用するという仕組みなどを考えてほしい。
- ・ 回数券の利用状況について集計してほしい。
- ・ 広告について、どこが募集するのか。外したり、汚れた時の管理はどうするのか。また、車内広告、車内アナウンスの導入についてはどうか。

(事務局)

- ・ 募集は、市が要綱を定めることを考えている。市が募集、収入についても管理する。広告の汚れ、作成は、広告者が作成することを考えている。内装の関係もあり、車内広告は、現状検討していない。

(委員)

- ・ 車内広告は、取り付け方法が難しい。危険のないように取り付ける方法を検討している。
- ・ アナウンスは、専用の機械が必要なので、予算の問題がある。

(委員)

- ・ サポーター制度について、得られた収入は何に使うのか。管理方法についてどうするのか。

(委員)

- ・ 協賛制度は、もらいっぱなしではなく、回数券をお返しする形を提案している。

(事務局)

- ・ 協賛制度につきましては、市で要綱を作成することを想定している。収入は雑入、使用目的は検討したい。
- ・ 事務局で研究し、承認をいただくということをお願いしたい。

(委員)

- ・ 同様の取り組みを豊橋市で導入していると聞いている。次回に事例紹介をいただきながら、提案いただければと思う。

(4) 報告事項

ア 平成27年度公共交通の状況について

- ・ 事務局より資料5に基づいて報告が行われた。

[質疑]

(委員)

- ・ くるりんバスについて、認知が進み、利用が増加してきている。今年度に入り、4月は1便あたり3.8人の利用があった。5月には1日に利用者が50人を超えた日もあったと聞いた。あじさい祭りもあり、市外の利用も増えてきた。形原温泉の臨時バスよりも遅い便があり、利用があると聞いている。
- ・ あじさい祭りのときは、渋滞があり、遅延が発生してしまっている。
- ・ 男性、子供の利用促進について、形原小学校で発表会があり、若い母親等に子供とお爺さんと一緒に利用することをお願いしてきた。こうした取り組みを続けていきたい。

イ 蒲郡市バス運行対策費補助金要綱について

- ・ 事務局より資料6に基づいて報告が行われた。

[質疑]

(委員)

- ・ 市の見解というのが気になる。地域公共交通網形成計画は、協議会で委員の合意を得ながら最終的に市の計画となる。交通網、公共交通はネットワークではじめて機能する。ネットワークを形成するということは、あるところに集めて、例えば駅に集めて、病院、商業施設などに繋ぐことでネットワークとして機能する。
- ・ 東部の方にとっては、中心の蒲郡駅に行き、乗り換えることで病院等に行けるということ。現状の段階では、当局の判断は理解するが、すぐにどうこうということではないが今後は、ネットワークで機能することを念頭においていただき、対応を考えていただければと思う。

(5) その他

ア 夏休み小学生50円バスの実施について

(委員)

- ・ 50円バスは年々利用が増えている。事業者としても協力をしていきたい。
- ・ ただし、収入はついてこない。蒲郡市内の利用はまだ少ないのでよいが、将来的に大幅に利用が増えた場合には、収入面での支援を検討いただければと思う。

(委員)

- ・ 保護者がいっしょに利用する効果はないか。

(委員)

- ・ その点は加味して考えていく。

(委員)

- ・ 子供の利用は、将来的に通学通勤の定期利用に繋がるし、バス運転手になる可能性もある。
- ・ 自治体の支援も期待されることではあるが、子供が乗ってくれることは、非常によい取り組みだと思う。
- ・ 海フェスタ東三河は、国土交通省の支援する取り組み。土日祝日は、豊橋駅から無料シャトルバスが出る。豊橋駅までたどりつけば、海フェスタの参加ができる。子供たちにあじさいくるりんバスを含め、利用をお願いしたい。

イ その他

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議の開催は、決まり次第通知するとの連絡を行い会議は終了した。